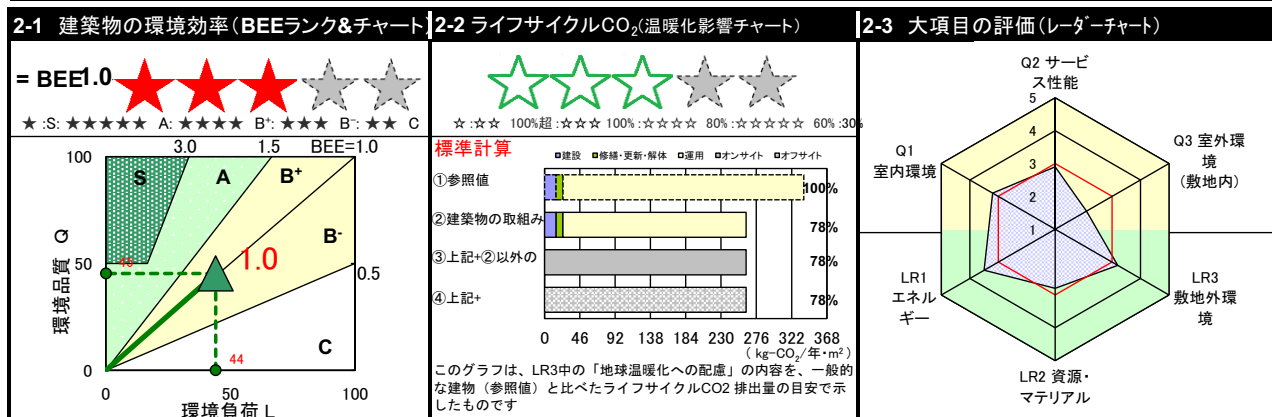


CASBEE® 名古屋

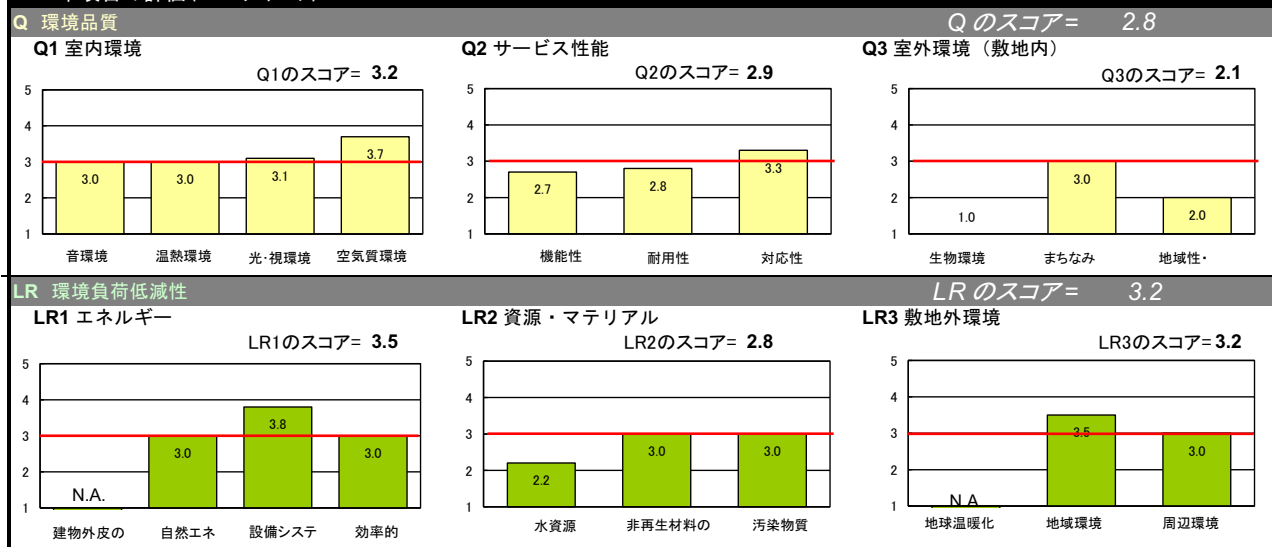
■使用評価マニュアル：CASBEE-名古屋版(2016年版) 名古屋建築環境総合性能評価システム2016 使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドラッグコスモス中丸店	階数	地上2F	
建設地	名古屋市中区中丸町2丁目17番2他6筆	構造	S造	
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	100 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店、病院、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年8月26日	
敷地面積	5,154 m ²	作成者		
建築面積	2,037 m ²	確認日	2020年8月26日	
延床面積	2,659 m ²	確認者		



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 建築外皮に於ける断熱性能を高め、冷暖房エネルギーの消費効率を高めると共に、過剰な空調能力を避け、必要最小限の室温環境が保てるように配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 開口部にはロールスクリーンを設け、日射遮蔽性能を高めた。また、ホルムアルデヒド等健康被害を起こす物質を含んだ仕上げ材の仕様を回避した。	Q2 サービス性能 天井高を高くとり、通路幅に余裕をもつことで自由な空間利用を可能にする共に、利用者に圧迫感を感じさせないようにした。内装色はアイボリー色に統一し、照明計画を含めて豊かな雰囲気演出する。また、不特定多数の利用者に配慮し、『愛知県 人にやさしい街づくりの推進に関する条例』を満たすように努めた。	Q3 室外環境 (敷地内) 空調室外機やその他設備機器が幹線道路から見えないよう、専用スペースや屋根上に設置し、周辺の景観に配慮した。
LR1 エネルギー 設備システムの効率的運用に配慮し、メンテナンス等運用管理体制を確保する。	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 十分な駐輪場を計画し、交通負荷抑制と光害への配慮をした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)ドラッグコスモス中丸店

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル:

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.4
LR1	エネルギー	3.5	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	0.0	0	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.075	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	1.0	0.045	
3. 循環型社会				2.8
LR2.1	水資源保護	2.2	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.028125	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.4



2. 自然共生

評価点 = 1.3



3. 循環型社会

評価点 = 2.8



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。